

			2025	
分野／開講部局	必要 単位数	科目名 (緑は第一部門、オレンジは社研 開講科目)	開講 学期	曜日 時限
I. 社会・文化・地域 1. 世界と日本 2. 異文化接触 3. 日本語教育の歴史と現状 4. 日本語教員の資質・能力	4	比較文化学講義A(松原 真)(日本文学を考える)	春夏	金3
		日本語教育学講義B(太田 浩)(日本と世界の留学生政策と実践)	春夏	木2
		アジア文化論A(伊 恵貞)(メディア空間と東アジアの文化)	秋冬	水4
		国際社会学特論(飯尾 真貴子)	秋冬	月2
		比較・国際教育学(太田 美幸)	春	月3・木3
		国際開発論A(上田 元)	休講	
		社会開発論A(上田 元)	休講	
		社会開発論B(小泉 佑介)	休講	
II. 言語と社会 1. 言語と社会の関係 2. 言語使用と社会 3. 異文化コミュニケーションと社会	4	比較文化学講義B(吉田真悟)	休講	
		日本語教育学講義H(庵 功雄・太田 陽子)(やさしい日本語の諸相)	秋冬	水1
		文化交流の技法と実践(鈴木 雅之)	秋冬	水4
		国際協力の実務と方法(松本 勝男)	春夏	金5
		多言語社会論(安田 敏朗)(近代日本語史の諸問題)	春夏	木6
		社会言語論A(吉田 真悟)(社会「英語」論:英語との向き合い方を考える)	秋冬	月2
		社会言語論B(佐野 彩)(ヨーロッパの言語と社会)	秋冬	火2
		言語政策論(嶋田 珠巳)(言語政策とコミュニティ)	春夏	月2
		言語と社会B(寺尾 智史)(言語と権力)	春夏	火4
III. 言語と心理 1. 言語理解の過程 2. 言語習得・発達 3. 異文化理解と心理	4	日本語教育学講義F(阿部 仁)(異なる文化を受け止める)	秋冬	火4
		日本語学講義C(早川 杏子)(定量的な言語の研究手法)	秋冬	火2
		日本語教育学講義K(早川 杏子)(第二言語習得)	春夏	月3
		異文化理解の理論と実践(小田 隆史)	冬1	集中講義
		多文化社会の人間形成(太田美幸)	休講	
IV. 言語と教育 1. 言語教育法・実技(実習) 2. 異文化間教育・コミュニケーション教育 3. 言語教育と情報	8*	日本語教育学講義A(西谷 まり)(日本語教授法)	春夏	火1
		日本語教育学講義C(阿部 仁)(参加型学習法)	春夏	火4
		日本語教育学講義G(太田 陽子)(日本語教育学概論)	春夏	水1
		日本語教育学講義J(太田 陽子)(教室と学習のデザイン)	秋冬	火3
		日本語教育実習A(早川 杏子)(国内実習)	春夏	火3
		日本語教育実習B(太田 陽子)(国内実習)	春夏	火3
		日本語教育実習C(早川 杏子)(海外実習・ベトナム)	秋冬	月1
		日本語教育実習D(太田 陽子)(海外実習・マレーシア)	秋冬	火1
V. 言語一般 1. 言語の構造一般 2. 日本語の構造 3. コミュニケーション能力	6	日本語学講義A(松下 達彦)(日本語語彙の学習・教育)	秋冬	木1
		日本語学講義B(庵 功雄)(日本語学入門)	春夏	水2
		日本語学講義D(岩崎 拓也)(コーパス分析の基礎)	秋冬	月3
		日本語学講義E(木田 真理)(日本語教育文法概論)	秋冬	水2
		社会言語学入門(荒井 幸康)	春夏	火2
		一般言語学入門(吉田 夏也)	春夏	火2